

心耕

2017(平成29)年

11月号

高速道路が見える高層ビル群。人影は一つもない。人を捜す自分を想像して、チト背筋が凍った。

6 6 2 9

今月の行事

○十二日(日)築地本願寺

報恩講参詣

08:15 出発
帰着 20:00
共に西光寺

○二十四(金)二十五(土)二十六(日)

西光寺報恩講

※誌中に詳細案内

三皇の勉強会
1日(木) 18:00より

24日(土) 10:30より

写経会
慈悲の為
休止

草刈り 五日(日) 朝八時より 御加勢

仙真のお磨ぎ 二十二日(水) 十時より
お牛伝い
お願い

報恩講は親鸞聖人の御法事。年々756回忌。皆に参ってほしい。冬などきても「お前にはワシを付いてるよ」そのワシに出会ってほしい。一住職なはんたひなまんたひ

毎朝 6時半より 御晨朝

台風が過ぎた後は木枯らし一写。重いトラックでさえ速度を落とす

高速道路。風に吹かれて悪いのだ。

空は真。青台風一過。必死でハンドルを握って江戸川を越えること

う東京。車の流れの向こうに高いビル群が広がってくる。ただ、

と眺めているだけだった。たか

ビルの屋上。窓という窓。通路と

いう通路。人影が一つもないこと

に気付いた。マンションには一枚

の蒲団と一つの洗濯ものもない。

強風のせいでもあろうが、人がい

る形跡はあるのに人影がない。過

疎地の話ではなく大東京の実像。

SF映画のシーンを現実化してい

るような感覚に陥っていた。ゾッと

した。ナンセンスな念心化と思えるんだ

釈迦彌陀の慈悲よりぞ 願作仏心はえしめたる

信心の智慧にりてこそ 仏恩報ずる身とはなれ

正像末和讃

《意識》お釈迦様阿彌陀様の慈悲によって凡夫が仏になる
うと願う心を得ることが出来たのです。それを信心と呼び
ます。慈悲によって得た信心はそのままが釈迦彌陀の智慧に
包まれています。智慧に包まれてようやく凡夫は仏恩（まご
との恩）をしらされて、恩に報いて生きることが出来るよう
になるのです。

《要点》願作仏心を得るということは生きる方向が定まると
いうこと、方向が定まるといふことは目的が定まるといふこ
と。

大海に放り出され荒波にもまれる小舟のようにしか思え
ていなかった人生が、目的と航路を授かり確実に目的に到
ることを教えられる。その教えを分かるためにどれだけの助

けを用としてきたか、深く心に刻み込むがいい。『恩』を知
ることが如何に大きな喜びとともにあることが知られまし
よう。

【恩】：因をたずねる心

仏教では恩を、①親 ②師 ③国 ④仏 の四つに分け
ています。大事なことを教えてくれて、生かしてくれただも
のです。親は師に、師は国に、国は仏に包まれています。国
までは具体的に分かりやすいのですが、仏の恩は雲をつかむ
ようなものだと感じます。

「恩返し」という言葉が頻繁に使われます。しかし返せる
ものは「借り」です。まことの恩は返せるようなものではあ
りません。まことの恩は必ず仏に思い至ります。永遠であ
り無限です。その仏が親として表れて下さり、師として国と
して表れて下さった。そうとしか思えなくなるのです。報い
るとは、恥ずかしくないように生きるといふことです。

有耶無耶



「有耶無耶になる 有耶無耶にする」といううやむや、仏教が老荘思想の言葉を取り入れたものの一つです。

耶という漢字には、「くだらうか」という意味があります。有耶無耶は、あるのだろうかないのだろうかとおぼろげなありさまを表す言葉として現代でもほぼ同じ意味で用いられています。

ところがです。なぜか日本で違う意味で使われている場所があります。それが、宮城県と山形県の境、笹谷峠にある有耶無耶関の物語です。その昔、関所があった有耶無耶関。この近くでは、人を食らう鬼が出るとの噂があった。そこに八咫鳥がやってきて鬼がいれば「有や」と鳴き、いなければ「無や」と鳴いたそうです。この場合の「や」の用法は、断定です。

条件が変われば、言葉の意味も変わってきます。ちなみに「まじ？」は、江戸言葉だったそうです。いまになって復活する言葉もあるんですね。

まじ？の
実は江戸と山形県
まじ？。
ヤヤヤ

こんなところに 仏教用語

身近な仏教用語を紹介しています。

盂蘭盆

おそろくは、日本で一番盛んな仏教行事



事であろうお盆ですが、正式には、盂蘭盆と申します。サンクリット語で倒懸を意味する *ulambana* の音が漢字に当てはめられました。倒懸は、物事を逆さまに見ていることを言います。お盆は、この盂蘭盆経というお経が元になり中国で始まり、日本でまた形を変えて広まった行事です。歴史は古く聖徳太子の時代から勤められていたそうです。

盂蘭盆経にはこう説かれています。お釈迦様の弟子目連さんが、亡くなった母親を神通力でどこにいるか見たところ、餓鬼の世界に落ちていた。餓鬼道は、飲まず食えずの世界。水を飲もうとすると口元で火に代わる世界。目連さんはお釈迦様に相談しに行きます。すると、「七月十五日に修行を終えた僧侶が近くを通る。お盆に供物を載せて、お供えなさい。僧侶の功德によって母親は助かるであろう」と言われます。目連さんはその通りに実行し、母親を餓鬼道より救うことが出来たという話です。



後に、農村部で、農作業の関係で八月十五日に行うところも出てきたそうです。七月盆、八月盆があるのはそのためです。

11月の法座案内

12日(日) 法座はお休みです。

*築地本願寺へ参拝の為、西光寺での法座はお休みです

西光寺報恩講

日程

24日(金) 午後1時～3時 法要
25日(土) 午後1時～3時 法要
午後6時30分～7時30分 法要
26日(日) 午前10時～11時 法要
昼 御齋(おとし)
午後1時30分～3時30分 法要
午後3時30分～
打ち上げ：西光寺特製ピザ

講師：七里順量氏

(埼玉県草加市超光寺)

報恩講って？

浄土真宗を開かれた親鸞聖人のご法事です。

迷い、苦しみ、憂う者をすくいの手で包んだなら決して離さないと誓われた阿弥陀如来。その攝取不捨の慈悲の心を伝えて下さった親鸞聖人。

この報恩講は1年で最も大切な行事です。西光寺では3日間勤められます。お参りに条件、制限はありません。どれか一日でもお参りください。

西光寺のお齋

法事の後にいただく食事をお齋といいます。元々は寺院での僧侶の食事のことをお齋といたしました。さまざまないのちをいただいて我々は生活をしています。

いただきますのこころを忘れぬよう西光寺では手作りのお齋を続けています。

お齋を手伝ってみたいという方も募集していますので、お寺にたずねてください。



各種ご案内

・お朝事

毎朝六時半〜七時、朝のお勤めをしています。主に正信偈を読みます。命日で時間の無い方なども是非お参りください。

・草取り

今月は第一日曜日です。ご注意を！皆さんの力をお貸し下さい
*雨天中止
五日(日) 八時〜九時

・写経会

池上さんが講師です。いつでもどうぞ！
壮年会婦人会合同です。
一ヶ月休み

・壮年会・婦人会主催の勉強会

三島さんが講師です。真宗の教えを知りたい方は是非！
壮年会 一八時〜 一日 一二月は六日
婦人会 一〇時半〜 二四日

・門信徒会費 口座振込について

振込番号です ゆうちよ銀行
西光寺門信徒会 00180-0-713424

・心耕発送者募集!

毎月皆様のお手元に届けられる心耕。この心耕は、有志のご門徒にお手伝いいただき発送をしています。この発送作業をお手伝いいただける方を募集します。

形態…三カ月に一度 主に月初めの平日
時間…一〇時〜一二時 特製ランチ付♪

・メールマガジンのご案内

・毎月の行事、公開講座、子供会、落語会のご案内や4コマ漫画を、メールマガジンで配信。登録は、左記のQRコードを用いるか、saikohji@saikohji.netまで、氏名を記入し送信してください。

・ポスティングお手伝い募集

度々開かれる、子供会・公開講座・落語会のチラシを近所へ配布しています。もし皆様の中で近所の五十軒だったら回れる、この町内は回れる。このお店にチラシを置かせておられるなどありましたら、連絡して下さい。年に数回です。
ご協力よろしくお願いいたします。



・西光寺ヨガ

呼吸と脱力がメインのヨガです。
開催日 毎週火曜日開催(基本)
時間 一四時〜一五時
会費 五〇〇円(高校生以下無料)

持ち物 タオル 動きやすい服装

ヨガマット(レンタル二〇〇円)

・おみがき

報恩講(親鸞聖人のご法事)の前に、仏具を磨きます。年内最後のおみがきです。作業は難しくありません。一緒に本堂をきれいにしましょう。

日時 二十二日 十時〜十二時

*坊守特性ランチ付

・花まつりの内容が決定!

先の話ですが、二月三一日の花まつりのメイン企画が決まりました。木のスプーン作りです。日本で唯一の女性木彫りスプーン作家宮菌なつみさんをお迎えしての企画です。詳しい案内はまた今度。今からスケジュールを空けておいてください。

・ケアカフェが無事終了

地域の医療、福祉、宗教に携わる人が、業種・経験などの壁を取り払い、話をするケアカフェ。一〇月六日のテーマは、「豊」。豊かさとは何かについていろいろと話が出ました。佐倉から来た方もおられました。次回は、一月一九日(金)です。



住職多感

作家の高史明氏に先輩が政治と宗教の問題を尋ねたときのことを、「高さんが、政治の問題というのは小さな問題です、と云うてくれたもんなあ」と後になって笑顔で話してくれた。大学で哲学を学び、実存主義に傾倒し、部落差別解放運動に身を投ずる中で親鸞聖人に出会った先輩が、京都に出て念仏の教えを学び始めた中での出来事だ。それから四十有余年、ゴリラのような顔立ちで無精ひげだが色白で、目が黒く澄んでいた先輩の笑顔が目の前に浮かぶ。何も言わない。先輩は若いまんまである。

この国の核政策はもう無茶苦茶であるようにしか見えない。何をとち狂っているのか、隠すことだけが政策になっている。肝心なことは何でも隠す。隠すためには手段は選ばぬ。法律に違反さえしていなければ何をやっても構わない。法律の解釈はいかようにも変えられる。何でもできる。隠す

おおすことだけに政治力の全てを費やす。そのどこが悪い。みんなが作った政治じゃないか。批判するのはお門違いだろ。

この風潮は至るところに及ぶ。ばれて初めて悪いこと。ばれさえしなければと思っていたらばれてしまつてさあ大変。あの企業がこの会社が。あちこちで綻びが目立ってきてしまつた。

これから先何があるか見当もつかない。しかし時代は常になにかしら難儀な問題を抱えてきた。ナンマンダブナマンダブ、足元はちゃんとあるんだから、黙々と歩き続けてきた先祖たちの末裔に連なろう。

九州場所、十五日間、決まつた時間にテレビの前に座り込む。

十二月の行事

・十二日(火) 常例法座 住職

・二十四日(日) 日曜法座 若住職

・三島ヶえの勉強会

六日(水) 午後六時 二十四日 十時半

◎餅つき・びざ焼き・忘年会 27日

年の暮暮れ何はなくなともナモアミダ
嫌なことが沢山。耳を塞ぎたくなることも
一杯。それでも生かされとるもんなんや。おれだけ
は七れんと... ナンマンダブナマンダブ

発行

浄土真宗 本願寺派 (西)

西光寺

〒二九〇〇〇二四

千葉県市原市根田

七三三十一

TEL. 0436-22-7412

FAX. 0436-24-1652

HP <http://saikohji.net>

MAIL saikohji@hb.tp1.jp